

施設近況(中辺路白百合学園)

桜咲く春爛漫の季節ですが、建物を建て替えたせいでしょうか、昨年の景色とは打って変わって新鮮な感じを受けます。今年、桜の花がほとんど咲きませんでした。きれいに咲く桜でしたの以来年からの心配です。

これから暖かくなってきましたので、屋外での活動が増えていきます。今まで通りの行事が出来ればうれしいのですが、年々利用者様が、加齢とともに参加しにくくなってきています。体調に添った行事を立てていかなければならなくなってきています。

利用者の方達が新しい部屋に移ってから半年経ちました。ほとんどの方が新しい生活環境に慣れ、快適に過ごされておりす。特に他者との関係がむずかしくなった人たちにとって、落ち着ける部屋が出来たことは、喜ばしいことです。

短期入所を増床したことで、利用したい家族の方や行政の関係者からの問い合わせが多く、その関係で見学される方も増えていす。入所を希望されている家族・関係者の方は、新しい建物の雰囲気や好感をもってご覧のようす。ぜひ将来利用したいとの要望を受けています。これからも、処遇の充実を図るために、職員に対して意識を高める意味もあって、個別ケア会議や勉強会等の研修を推し進めていき、利用者の方達がより落ち着ける生活環境作りに励んでいきます。



(本館から新館を望む)



(新館玄関前)

中辺路白百合学園施設長 尾崎勝芳

施設近況(白百合ホーム)

施設の庭の八重桜が満開です。例年ですと四月末に開花の遅手の種類ですが、今年、全国的にも早かった様です。

皆さんにも庭に出てお花見しながらお弁当を楽しんで頂きました。初旬にドライブを楽しんだ周辺の山々は早や新緑に変わりました。



(山の高原はこうの向の桜)

さて、先号でもお伝えしましたが、近隣の二川小学校が栗栖川小学校と統合さ

れ児童数六八名の中辺路小学校としてスタートとなりました。今後学校閉校に関連して、先日一人の青年が施設を尋ねて来られました。学校に立ち寄ったら、放課後に友達と遊びに行った白百合ホームが懐かしくなって……と。施設開設当初「児童等の姿や元気な声がご老人が一番元気づけられ、喜ばれること」と願った頃の応援隊の一人だった方でした。

四月十三日、早朝の地震では、施設のナースコールも次々と鳴りっぱなしで、十数年前の震災を思い出す怖い揺れでしたが、皆様はいかがでしたでしょうか？

おみまい申し上げます。(泉)



(八重桜を見ながらのお食事)